

議題1 来年度の大会について

来年度の第10回JOFC総会開催について、名フィルFCが辞退された由伺っています。もちろん、次回を開催したいクラブがあればお願いをしたいと思います。もし来年度の開催地が決まらないのであれば、以下の提案をしたいと考えています。

提案内容

- ・2014年度は山形開催で、議論の内容を改革していただきJOFC総会の質が高まったこと
- ・しかしそのやり方もなかなか大変かな？結構パワーが必要という感触があったこと
- ・クラブによっては、スタッフも少なく総会を企画準備することが大変
- ・各クラブには、会員減少など会員拡大や運営方法にも変化が出てきていること

以上の状況を振り返ってみると、JOFCの在り方について、一度立ち止まって、この10年の反省が必要なのかなと思っています。確かに、国会での事業仕訳時には、抗議文を送るなど社会活動にも参加してきました。また、東日本大震災時には、いち早く仙台フィルとSPCに対して直接的支援の輪が広がりました。さらには各JOFC総会を通じて同じ思いの仲間が問題や課題を持ち寄り、全体のパワーが共有できたと感じております。しかし、総会開催運営も大きくなり、各クラブも負担に感じていることも事実であります。

以上のことを考えると、この10年をしっかりと振り返る必要が出てきたと思います。また、各クラブの実情をしっかりと把握し、無理の無い総会運営が重要だろうと思います。このJOFC設立の意味というものも変化していることと思います。おらが街のオーケストラのオーディエンスを増やす市民運動という観点からももう一度見直していくことは必然と思っています。

具体的提案

- ・この10年を振り返り、JOFC活動の意味を再確認する必要がある
- ・そのため、10年記念総会の開催を延期して、JOFC活動の振りかえりと将来に向けたビジョンを話し合う幹事会を開催し、そのうえで新たな方向を模索してはどうか？
- ・開催地については、都響倶楽部さんの協力得て、東京を中心に検討する。
- ・幹事会に開催にあたって新規入会団体にも連絡し参加を希望する。
(都響倶楽部・九響倶楽部・日本センチュリーサポーターズ・日本フィルハーモニー協会・その他)

具体的な行動

- ・この高崎総会終了後に、幹事会メンバーを中心にメール幹事会を開催していく
- ・そのため各クラブ実情や希望をアンケートにより把握し、現状把握と今後の方向を各クラブが役割分担して検討する。
 - ① アンケート案の作成・配布・集計（3月末）
 - ② アンケート分析・問題提起（6月末）
 - ③ アンケート結果の幹事会意見収集（8月末）
 - ④ 幹事会資料のまとめ（10月末）
 - ⑤ 各団体での検討・資料作成（12月末）
 - ⑥ 顔を合わせての拡大幹事会を開催する（メンバー：幹事会・事務局長・副会長・会長）（未定）